

平成30年度 福井県公共工事入札監視委員会審議状況報告

福井県公共工事入札監視委員会要領第6の規定により、平成30年度の審議状況について下記のとおり報告します。

平成31年3月29日

福井県知事様

福井県公共工事入札監視委員会

記

1 開催状況

《第1回》

- (1) 日時 平成30年6月8日(金) 9:30～11:30
- (2) 場所 県庁10階 審問廷
- (3) 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議

《第2回》

- (1) 日時 平成30年8月22日(水) 9:30～11:30
- (2) 場所 県庁10階 審問廷
- (3) 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について

《第3回》

- (1) 日時 平成30年11月19日(月) 14:00～16:00
- (2) 場所 県庁10階 審問廷
- (3) 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について

《第4回》

- (1) 日 時 平成31年3月19日(火) 9:00 ~ 11:00
- (2) 場 所 県庁3階 第2委員会室
- (3) 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員
- ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議

2 主な質疑および説明

(1) 入札契約全般

Q 入札参加資格で福井土木事務所管内西地区となっており、総合評価の評価項目でも同地区が2.5点の加点となっているが、もう少し細かく地区を設定することはできないのか。

A 地域の設定については、災害時の対応できる業者数、入札の競争性、地域ごとの特殊性などがあるので、制度設計の難しいところだと考えている。現在は原則が市町単位、福井土木事務所管内では4つの地区に分割するのが業者数などから適切ではないかと考えている。

Q 応札した3社が予定価格と最低制限価格の真ん中ぐらいで同じような価格で入札しているが、本工事が特殊なこともあり、業者にはこれくらいなら請け負えるという金額の経験則があるのか。

A 入札公告の主たる部分の明示において自社施工を求めているため、業者が自社で行いどれくらいなら利益を確保できるかどうかという相場観はあると推測する。

Q 消波ブロックの製作・据付の工事は応札者がもともと少ないのか。

A 本件のような海上施工においては船が必要となるため応札者が少なくなりやすい。

Q この業務の指名業者について、県外の業者の方が多いが、県内の業者ではできないのか。

A 下水道の技術士を雇用し、この業務と同種の実績を有している県内業者は少ない。

Q 業務発注にあたり、複数の業者から参考見積りを提出してもらったとのことだが、見積もりを提出してもらった業者はどのように選定したのか。

A 本件と同様の業務の実績が多い業者に提出を依頼した。

Q 平均応札者数が減ってきている理由はどのようなことが考えられるのか。

A 業者も利益率等を考慮して入札しない選択をする場合もあると考える。

(2) 総合評価落札方式関係

Q 総合評価落札方式の評価項目に若手担当技術者への加点の項目があるが、加点申請の現状はどうか。

A 建設産業は担い手不足で若手が少なく、入職者の増加や技術者の育成が課題であることもあり、

申請は少ない。

Q 地域防災力維持型の7割以上自社施工とは、発注した工事だけで評価するのか。それとも過去の実績も含めて評価するのか。

A 発注した工事ごとに評価し、1つの工事の7割を自社で施工するならば加点評価する。

(3) その他

Q 災害などで随意契約をする際の建設会社・コンサルタント会社を選び方は。

A 工事の場合、災害の規模によっては相応の機械があり作業員がいる業者でなければ対応できないので、出先機関の所長が付近の建設会社を選定する。選定した業者とできるかどうかの確認をした後、覚書を締結して工事を行う。

コンサルタント会社については、業者の得意分野であったり、機械が必要な場合にあっては機械を保有しているなどの理由から選定している。

Q 災害等の応急復旧工事の場合、まず覚書をかわすとのことだったが、その覚書には工事の具体的な内容は記載するのか。また、契約はいつするのか。

A すぐに工事をしてもらうことが優先されるので、例えば土砂撤去一式と記載した覚書で対応している。契約については数量が特定できた時点で設計書を作成し、契約締結の手続きを行っている。

3 検討を要する事項

特になし